

行政視察報告書

平成 21 年 6 月 17 日

【期 日】平成 21 年(2009 年)5 月 26 日(火)、27 日(水)、28 日(木)の 3 日間

【視察地】山形県金山町 「街並み(景観)づくり 100 年運動について」、
秋田県仙北市 「定住対策プロジェクトについて」

【出席者】湯沢英之、増淵靖弘、横尾武男、鰐原一男、大島久幸、赤坂日出男、富久田耕平、鈴木章由、
飯塚正人、船生哲夫

金山町 「街並み(景観)づくり 100 年運動について」

山形県最上郡金山町は、町域の 4 分の 3 が森林で占めている、自然に恵まれた地です。この森林から生まれるのが、まちの特産品“金山杉”です。この杉から生まれたのが“金山型住宅”で、金山のまち並みづくりには欠かせないものとなっています。

1984 年「街並み景観づくり百年運動」が提言され、100 年かけて自然（風景）と調和した美しい街並みをつくっていく、また、林業等の地場産業の振興や人と自然の共生を図り続けています。この「街並み景観づくり百年運動」、観光客のためというよりは、そこに住む人自身のために景観を守っているという印象を受けます。

「金山型住宅」の普及、豊富な水、まちを守り続けてきた山々。これらは、まちの人達の貴重な財産です。明治期、「杉の美林が失われる」という理由から、奥羽本線の敷設を拒否し、また、昭和や平成の大合併という幾度とあった合併の流れに加わらなかった独自色の強い町は、これからも時代の流れに左右されずにまちの宝物を守り続けていくことでしょう。



金山町の街並み



豊富な水と守りつづけている民家の前で

仙北市 「定住対策プロジェクトについて」

仙北市は、秋田県の東部中央に位置し、岩手県と隣接している地域です。ほぼ中央に水深が日本一である田沢湖があり、東に秋田駒ヶ岳、北に八幡平、南は仙北平野へと開けています。地域の約 8 割 (892.05 平方キロメートル) が森林地帯で、奥羽山脈から流れる河川は、仙北地域の水源となっています。平成 17 年 9 月 20 日に旧田沢湖町、旧角館町、旧西木村が合併し、誕生しました

仙北市では、少子高齢化と人口減少が続く中で、若者の定住促進や団塊の世代の受け入れが大きな課題である。定住対策の施策に関し、市民の声を聞くために定住対策懇談会を開催し、定住問題についてあらゆる角度から議論を交わし、定住施策へ活かしています。また、仙北市総合計画の主要課題の一環として、市内 3 地区をモデル地区とした空き家調査を行い、空き家情報バンクの開設により、定住希望への情報提供に努めています。さらに、団塊の世代や田舎暮らしに興味のある方々をターゲットにしたスローライフモニターツアー事業を実施し、滞在型のスローライフ体験を通じて定住促進につなげています。その他、定住促進奨励金制度を設けたり、定住促進 PR パンフレットを作成したり、仙北市の魅力を発信しています。

(具体的な成果目標)

・住民基本台帳人口	平成 19 年度	31,852 人	平成 22 年度	31,000 人
・空き家の活用軒数	平成 19 年度	0 軒	平成 22 年度	15 軒
・団塊世代移住人数	平成 19 年度	0 人	平成 22 年度	20 人



行政視察の一行

両市町を視察し、活発な意見交換を行い、これからの鹿沼市政の方策に大変参考となる行政視察でした。